

糸島市男女共同参画 推進状況報告書

(令和2年度実績報告及び第2次基本計画総括)

令和3年7月

糸 島 市

1. 第2次糸島市男女共同参画社会基本計画の概要

第2次糸島市男女共同参画社会基本計画（以下「計画」という。）は、男女が互いにその人権を尊重し、共に責任を担い、性別にかかわらず、あらゆる分野において対等に参画できる男女共同参画社会の実現を目的とし、「糸島市男女共同参画推進条例（以下「条例」という。）」に掲げる8つの基本理念に則り、男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に実施するために策定したものです。

基本理念（条例第3条）

1. 性別による差別を禁じて個人の尊厳を重視
2. 個性の尊重と能力の発揮
3. 社会における制度又は慣行についての配慮
4. 政策等の立案及び決定への共同参画
5. 家庭生活における活動と他の活動の両立
6. 教育の場における人権及び男女平等教育の推進
7. 互いの身体的特徴および性に関する個人の意思の尊重
8. 国際的な相互協力

なお、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（以下「DV防止法」という。）に基づく「市町村基本計画」及び女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく「市町村推進計画」は、この計画の中に包含し、策定しています。

2. 計画の位置付け

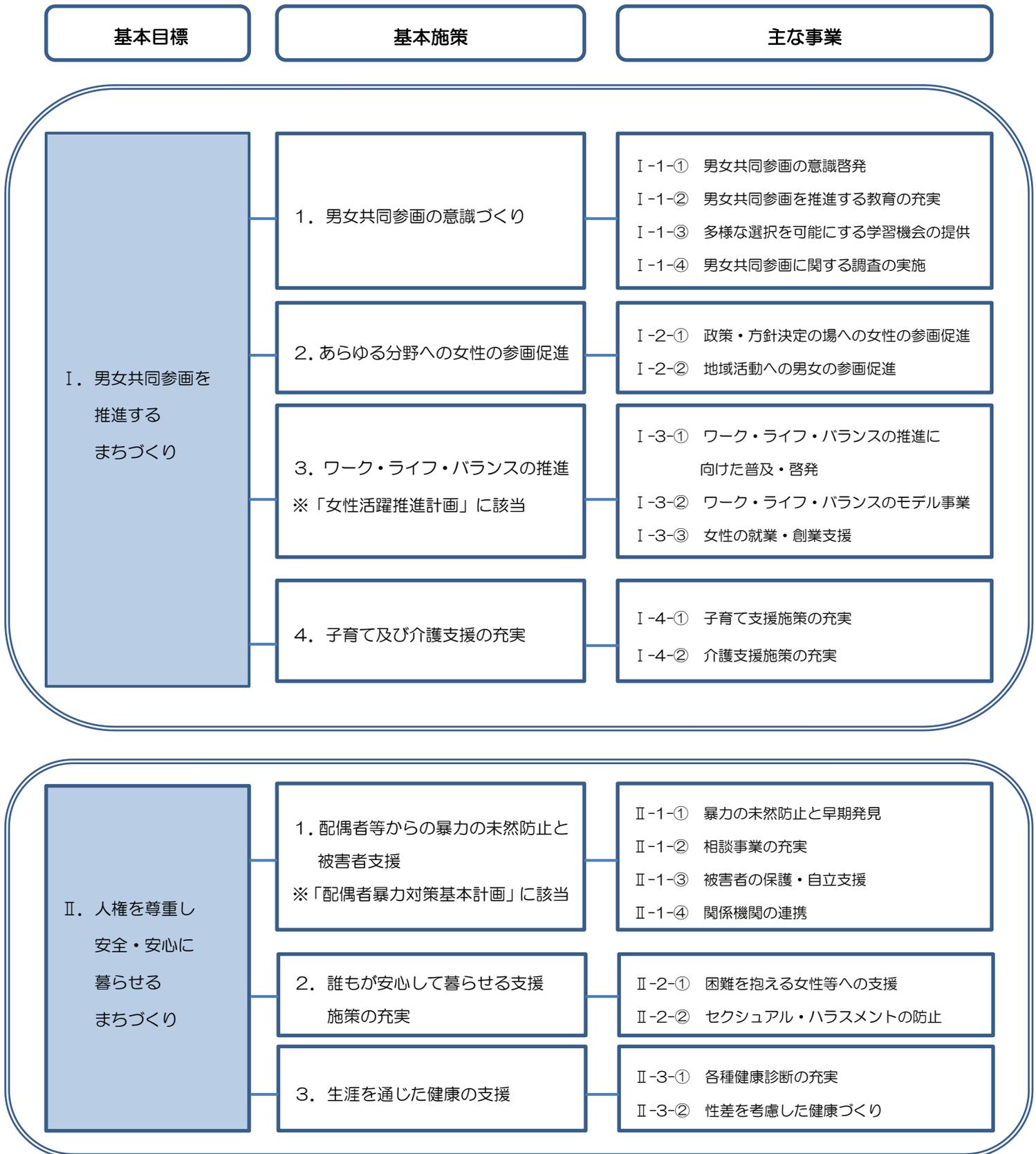
計画は、条例第9条に規定する「推進計画」として位置づけられており、「行動計画」及び「実施計画」を、毎年度「推進計画（以下「プラン」という。）」として個別に策定し、一体的な基本計画として管理しています。

また、プランについては、事業実績を取りまとめて報告することとし、計画に掲げる成果指標の進捗状況を確認しています。

3. 計画の期間

計画の期間は、平成28年度から令和2年度までの5年間ですが、具体的な施策や取組については、社会情勢や時代の変化に合わせ、必要度が高い事業から優先し、計画の期間内に毎年度プランを策定しています。

4. 第2次糸島市男女共同参画社会基本計画体系図



5. 計画の進捗状況

計画では、7つの基本施策ごとに成果指標を掲げ、男女共同参画の実現に向け、取り組むこととしています。

令和2年度は、全ての事業に数値目標を設定したうえで、12課が39の事業に取り組みました。

各事業の達成度に応じて、評価を5段階で行い、計画の成果指標に対する達成状況について総括を行っています。

※【成果指標及び事業の達成度】

- AA 目標値に対する実績値の割合が110%以上
- A 目標値に対する実績値の割合が90%以上、110%未満
- B 目標値に対する実績値の割合が70%以上、90%未満
- C 目標値に対する実績値の割合が50%以上、70%未満
- D 目標値に対する実績値の割合が50%未満

●令和2年度成果指標の達成度

| 基本施策 | 成果指標 | 計画策定時 | 現状値 令和3年3月31日 | 目標値 | ※達成度 |
|-------------|------------------------|---------------|------------------|---------------|----------|
| I-1 | 「男女共同参画社会」という言葉の認知度 | 44.4% | 50.2% | 60.0% | B |
| I-2 | 審議会等への女性委員の参画状況 | 30.5% | 32.1% | 40.0% | B |
| I-3 | 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知 | 28.3% | 42.2% | 50.0% | B |
| I-4 | 放課後児童クラブ 対象児童 | 小学校1年～ 3年生 | 小学校1年～ 6年生 | 小学校1年～ 6年生 | A |
| | 病児・病後児保育 利用者数（年間） | 460人 | 363人 | 800人 | D |
| II-1 | DV防止法の認知度 | 48.4% | 46.0% | 70.0% | C |
| II-2 | DV・女性相談件数（年間） | 781件 | 355件 | 860件 | D |
| II-3 | 乳がん検診受診率 | 19.8% | 13.2% | 25.1% | C |
| | 子宮がん検診受診率 | 22.6% | 12.3% | 22.4% | C |
| 総合評価 | | | | | C |

【令和2年度成果指標に対する評価】

計画に掲げる成果指標については、全9指標のうちA評価は1指標（11.1%）、B評価は3指標（33.3%）となっており、全体の44.4%を占めています。

B評価のうち「男女共同参画社会」「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知

度は、令和元年度に行った意識調査（5年に一度実施）の結果から、計画策定時より上昇しており、男女共同参画推進の取り組みの成果が表れています。

DV・女性相談件数（年間）については達成度Dではありますが、認知度を図るための目標値であることから、認知度の上昇に伴い、相談件数の減少が必ずしもマイナス評価となるものではありません。

また、女性特有のがん検診受診率については、総合健診、就学時健診、協会けんぽの被扶養者健診等を実施し、健診の機会を増やす取り組みを実施する予定でしたが、コロナ禍により集団健診日程が限られたこと等が影響し、C評価となっています。

なお、成果指標の令和元年度実績（総合評価B）と令和2年度実績（総合評価C）との比較については、意識調査が5年に1度であるため、I-1、I-3、II-1については成果指標の達成度（令和2年度）が不明であることや、啓発事業や対面式の講座、避難訓練等に係る取組等の実績値を目標に設定していた施策についてはコロナ禍により中止を余儀なくされたため、単純に比較はできません。

●令和2年度基本施策の達成度

| 基本施策 | 事業数 | 達成度 AA | 達成度 A | 達成度 B | 達成度 C | 達成度 D |
|------------------------------|-----|--------|-------|-------|-------|-------|
| I-1 男女共同参画の意識づくり | 7 | 0 | 5 | 0 | 0 | 2 |
| I-2 あらゆる分野への女性の参画促進 | 7 | 0 | 2 | 2 | 0 | 3 |
| I-3 ワーク・ライフ・バランスの推進 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 |
| I-4 子育て及び介護支援の充実 | 8 | 1 | 4 | 1 | 0 | 2 |
| 小計 | 25 | 1 | 12 | 4 | 0 | 8 |
| II-1 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援 | 6 | 1 | 2 | 0 | 3 | 0 |
| II-2 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実 | 4 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 |
| II-3 生涯を通じた健康の支援 | 4 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 小計 | 14 | 1 | 4 | 1 | 5 | 3 |
| 合計 | 39 | 2 | 16 | 5 | 5 | 11 |

【令和2年度基本施策に対する評価】

全39事業のうち、AA評価は2事業（5.1%）、A評価は16事業（41.0%）となっており、全体の46.1%を占めています。

その一方、D評価は11事業(28.2%)で、令和元年度(4事業10.0%)と比較すると増加していますが、これはコロナ禍により事業の中止を余儀なくされたことによるものです。

下半期は新型コロナウイルス感染防止策を講じたうえでの対面式講座の実施や、インターネットを活用した動画配信による啓発、等身大いとゴンパネルを作成し、駅や市役所玄関に設置することにより啓発物品の配布等を行う等、コロナ禍に対応した方法により施策取り組んだ結果、AA及びA評価は全39事業のうち18事業(46.1%)となっており、達成度の低下を抑えることができました。

第2次糸島市男女共同参画社会基本計画(平成28年度～令和2年度)の総括

➤ 進んだ主な取組

- ・ワーク・ライフ・バランスの実現のため「イクボスマニュアル」の作成、活用等、制度を利用しやすい職場の雰囲気づくりを図りました。また、女性がより就業しやすい環境の整備に向け、新規起業をサポートする各種事業の展開などに取り組み、女性の新規起業者が増加しました。
- ・子育て支援の充実を図るため、保育環境の整備と待機児童の解消を目指し、保育所入所定員数増となりました。
- ・生涯を通じた健康支援の取組として、中学校を対象に実施した思春期保健事業は市内全ての中学校で実施することができました。

➤ 残された主な課題

- ・政策・方針決定過程における女性参画率の低さ

男女共同参画社会の実現に向け、意識啓発に取り組んできましたが、男女が共に子育てや介護ができる環境整備、女性や高齢者など多様な人材が経済活動、地域活動に参画し、それぞれの特性に応じた役割を果たしていくことが重要課題となっています。

審議会等への女性委員の参画状況は令和元年度35.5%でしたが、令和2年度は32.1%に下がっており、第5次福岡県男女共同参画計画における成果指標(市町村審議会等に占める女性の割合:40%)を達成できていないため、引き続き女性委員の登用に努めるとともに、今後は男女比のバランスにも配慮し、選任枠を広げる等、更なる取り組みが求められます。

- ・DV、女性相談等における支援の充実

本市の女性相談窓口での相談内容はDV関連が最も多く、近年は若年層のデートDVに関する相談も寄せられるようになりました。

そこで、DV及びデートDVについての認識を高めるための啓発に取り組むとともに、相談機関等を一層広く周知し、被害者の支援体制を充実していくことが求められます。

以上のような課題を見据えたうえで、令和2年度に第3次糸島市男女共同参画社会基本計画を策定しました。令和3年度が始期となる新たな推進計画に基づき、各種施策に取り組み、男女共同参画社会の実現を目指します。

基本施策 I - 1 男女共同参画の意識づくり

| 成果指標 | 計画策定時 | 令和3年3月31日現状値 | 目標値 |
|---------------------|-------|--------------|-------|
| 「男女共同参画社会」という言葉の認知度 | 44.4% | 50.2% | 60.0% |

※令和元年度意識調査の結果

■成果指標の達成に向けた主な取組

| 事業番号 | 事業名 | 目標値 | 実績値 | 達成度 |
|------|------------------------|----------------------|---------------------|-----|
| No.1 | 男女共同参画推進 強調月間街頭啓発 | 啓発グッズ等配布数 1,100個 | 啓発グッズ等配布数 1,100個 | A |
| No.2 | 男女共同参画センター 運営協議会の開催 | 運営協議会開催数 2回 | 運営協議会開催数 2回 | A |
| No.3 | 市職員に対する研修の実施 | 研修受講率 98.0% | 研修受講率 97.2% | A |
| No.4 | 若年者向け啓発冊子配布事業 | 冊子配布数 3,300冊 | 冊子配布数 3,157冊 | A |
| No.5 | キャリア教育出前講座事業 | 講座受講人数 1,800人 | 講座受講人数 604人 | D |
| No.6 | 男女共同参画社会基本計画 啓発推進事業 | リーフレット配布冊数 500冊 | リーフレット配布冊数 500冊 | A |
| No.7 | 託児の実施 | 託児預かり人数（延べ数） 110人 | 託児預かり人数（延べ数） 49人 | D |

■令和2年度の総括及び今後の方向性

今なお根強く見受けられる固定的性別役割分担意識を取り除き、「自分らしく生きること」の大切さを考える機会を提供し、「男女共同参画社会」の認知度を高めるべく、市民向けの啓発はもちろん、市職員や教育現場における啓発を中心に実施しました。

コロナ禍により上半期は講座を中止せざるを得ませんでした。下半期は等身大いとゴンの活用やインターネットでの動画配信、オンライン講座等により啓発事業を実施しました。今後も男女共同参画社会強調月間を中心に啓発を行うことはもちろんですが、教育委員会とも連携し、学校現場での啓発を重点的に取り組んでいくこととします。

基本施策 I - 2 あらゆる分野への女性の参画促進

| 成果指標 | 計画策定時 | 令和3年3月31日現状値 | 目標値 |
|-----------------|-------|--------------|-------|
| 審議会等への女性委員の参画状況 | 30.5% | 32.1% | 40.0% |

■成果指標の達成に向けた主な取組

| 事業番号 | 事業名 | 目標値 | 実績値 | 達成度 |
|-------|----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|-----|
| No.8 | 女性職員の登用率向上 (主幹以上) | 女性職員の割合 23.0% | 女性職員の割合 24.2% | A |
| No.9 | 男女共同参画人材育成事業 | 人材バンクへの登録者数 3人 | 人材バンクへの登録者数 0人 | D |
| No.10 | 家族経営協定の締結促進 | 家族経営協定数 84件 | 家族経営協定数 84件 | A |
| No.11 | 審議会等における男女共同参画の推進 | 男性・女性委員の構成割合が30%以上となっている審議会の割合 75% | 男性・女性委員の構成割合が30%以上となっている審議会の割合 66% | B |
| No.12 | 自治会の男女共同参画促進事業 | 校区会議の開催 5校区 | 校区会議の開催 0校区 | D |
| No.13 | 校区避難所運営訓練事業 | 参加者数 3,048人 | 参加者数 0人 | D |
| No.14 | 推進団体支援事業 | 支援事業数 4本 | 支援事業数 3本 | B |

■令和2年度の総括及び今後の方向性

自治会の男女共同参画促進事業や校区避難所運営訓練事業はコロナ禍により中止となりましたが、推進団体支援事業は昨年より1本増え、新型コロナウイルス感染防止策を講じたうえで、3本の事業を実施することができました。

今後も政策・方針決定の場への女性の参画促進のため、啓発活動に取り組むとともに、地域の様々な課題を解決するため、自治会活動や防災活動などの地域活動における男女共同参画を推進し、市民と一体となって男女共同参画を図ります。

基本施策 I - 3 ワーク・ライフ・バランスの推進

| 成果指標 | 計画策定時 | 令和3年3月31日現状値 | 目標値 |
|-------------------------|-------|--------------|-------|
| 「ワーク・ライフ・バランス」という言葉の認知度 | 28.3% | 42.2% | 50.0% |

※令和元年度意識調査の結果

■成果指標の達成に向けた主な取組

| 事業番号 | 事業名 | 目標値 | 実績値 | 達成度 |
|-------|--------------|-------------------|-------------------|-----|
| No.15 | 新規起業家応援事業 | 新規起業家数（女性） 12人 | 新規起業家数（女性） 11人 | A |
| No.16 | イクボスマニュアルの作成 | マニュアルの活用 実施 | マニュアルの活用 未実施 | D |
| No.17 | 女性の再就職支援事業 | 講座受講者数 70人 | 講座受講者数 58人 | B |

■令和2年度の総括及び今後の方向性

個人にとっては、多様で柔軟な働き方の選択など、企業にとっても人材の確保や生産性の向上などのメリットが期待できることから、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた啓発活動を市民や企業に向けて行うだけでなく、市も率先して実施しています。

ワーク・ライフ・バランスの実現のためには制度を利用しやすい職場の雰囲気づくりが不可欠であり、非制度的環境づくりを必要とすることから、今後も啓発を図っていきます。

イクボスマニュアルの活用については、今後周知方法等を工夫し、職員のワーク・ライフ・バランスの推進を行います。

また、女性の再就職支援事業については、令和2年度はコロナ禍により他機関との連携は難しい状況でしたが、福岡県の就職支援セミナーやWeb活用プチ起業講座をラポールで開催しました。

基本施策 I - 4 子育て及び介護支援の充実

| 成果指標 | 計画策定時 | 令和3年3月31日現状値 | 目標値 |
|----------------------|---------------|---------------|---------------|
| 放課後児童クラブ 対象児童 | 小学校1年～ 3年生 | 小学校1年～ 6年生 | 小学校1年～ 6年生 |
| 病児・病後児保育 利用者数（年間） | 460人 | 363人 | 800人 |

■成果指標の達成に向けた主な取組

| 事業番号 | 事業名 | 目標値 | 実績値 | 達成度 |
|-------|-----------------------|--------------------|--------------------|-----|
| No.18 | 病児・病後児保育事業 | 利用者数 1,188人 | 利用者数 363人 | D |
| No.19 | 子育て短期支援事業 | 利用者数 15人 | 利用者数 0人 | D |
| No.20 | 民間保育所施設整備事業 | 保育所入所定員数 2,691人 | 保育所入所定員数 2,778人 | A |
| No.21 | ファミリー・サポート・ センター事業 | 利用者数 300人 | 利用者数 360人 | AA |
| No.22 | ママ・パパ教室 | 教室参加者数 100人 | 教室参加者数 98人 | A |
| No.23 | 介護人材確保事業 | 研修受講者数 30人 | 研修受講者数 29人 | A |
| No.24 | 介護予防・日常生活支援 総合事業 | サービスの種類数 6種類 | サービスの種類数 6種類 | A |
| No.25 | 認知症施策推進事業 | 認知症カフェ設置件数 10件 | 認知症カフェ設置件数 7件 | B |

■令和2年度の総括及び今後の方向性

病児・病後児保育事業については、コロナ禍により利用を控える保護者の方が多く、実績値は下がりましたが、今後は感染症対策を講じ、安心して利用できる環境の整備を図ります。

また、民間保育所施設整備事業については、市内4施設が認定こども園に移行したことにより利用定員が増となり、ファミリー・サポート・センター事業についてもコロナ禍により大規模会員登録会は実施できませんでしたが、個別の会員登録対応により登録者数は増加しました。

基本施策Ⅱ - 1 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援

| 成果指標 | 計画策定時 | 令和3年3月31日現状値 | 目標値 |
|-----------|-------|--------------|-------|
| DV防止法の認知度 | 48.4% | 46.0% | 70.0% |

※令和元年度意識調査の結果

■成果指標の達成に向けた主な取組

| 事業番号 | 事業名 | 目標値 | 実績値 | 達成度 |
|-------|-------------------|----------------------|----------------------|-----|
| No.26 | DV防止街頭啓発 | 啓発グッズ等配布数 1,200個 | 啓発グッズ等配布数 1,200個 | A |
| No.27 | 啓発講座や出前講座の実施 | 講座の実施回数 10回 | 講座の実施回数 6回 | C |
| No.28 | DV女性相談窓口の設置 | DV女性相談件数 622件 | DV女性相談件数 355件 | C |
| No.29 | DV相談カードの 配布・設置 | カード配布（補充）数 4,800枚 | カード配布（補充）数 5,735枚 | AA |
| No.30 | 関係課との連携相談対応 | 連携相談対応件数 700件 | 連携相談対応件数 352件 | C |
| No.31 | 福岡県との連携会議 | 会議開催数 1回 | 会議開催数 1回 | A |

■令和2年度の総括及び今後の方向性

DV防止街頭啓発については、「女性に対する暴力をなくす運動週間」に市役所やコミュニティセンター等36か所にポスター掲示と啓発グッズの配布を行いました。また、コロナ禍により対面での実施ができなかったため、新たな取組として、JR駅構内に等身大の「いとゴンパネル」を設置し、チラシやグッズの配布に活用しました。

また、DV啓発講座や出前講座の実施については、若年者を対象にしたデートDV等の出前講座や、インターネットの活用によるDV防止啓発動画配信を行いました。

基本施策Ⅱ－２ 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実

| 成果指標 | 計画策定時 | 令和3年3月31日現状値 | 目標値 |
|---------------|-------|--------------|------|
| DV・女性相談件数（年間） | 781件 | 355件 | 622件 |

■成果指標の達成に向けた主な取組

| 事業番号 | 事業名 | 目標値 | 実績値 | 達成度 |
|-------|------------------------|-------------------|-------------------|-----|
| No.32 | 生活困窮者自立支援事業 | 任意事業の実施数 2事業 | 任意事業の実施数 2事業 | A |
| No.33 | ハラスメント相談員及び 相談窓口の設置 | 相談員に対する研修実施 1回 | 相談員に対する研修実施 1回 | A |
| No.34 | 女性の心理 カウンセリング事業 | 面接人数 75人 | 面接人数 52人 | C |
| No.35 | ひとり親家庭等 修学支援事業 | 利用者数 1人 | 利用者数 0人 | D |

■令和2年度の総括及び今後の方向性

生活困窮者自立支援事業については、任意事業のうち、就労準備支援事業は平成29年度から、家計改善支援事業は令和元年度から実施しました。

また、家計改善支援事業は令和3年度から相談日数を週1日から週3日に増やし、今後は未着手の任意事業開始に向けて取り組めます。

ハラスメント相談員及び相談窓口の設置については、ハラスメントに関する知識のある職員から相談員を選任し、安心して相談できる相談窓口を設置し、今後も職場環境の整備を推進します。

基本施策Ⅱ - 3 生涯を通じた健康の支援

| 成果指標 | 計画策定時 | 令和3年3月31日現状値 | 目標値 |
|------------|-------|--------------|-------|
| 乳がん検診受診率 | 19.8% | 13.2% | 25.1% |
| 子宮頸がん検診受診率 | 22.6% | 12.3% | 22.4% |

■成果指標の達成に向けた主な取組

| 事業番号 | 事業名 | 目標値 | 実績値 | 達成度 |
|-------|-------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----|
| No.36 | 栄養講座の開催 | 講座参加者実数 40人 | 講座参加者実数 9人 | D |
| No.37 | 女性特有のがん予防対策 | がん検診受診率 子宮頸がん 22.4% 乳がん 25.1% | がん検診受診率 子宮頸がん 12.3% 乳がん 13.2% | B |
| No.38 | 思春期保健事業 | 実施校 6校 | 実施校 3校 | C |
| No.39 | スポーツチャレンジ事業 | 参加人数 180人 | 参加人数 0人 | D |

■令和2年度の総括及び今後の方向性

女性特有のがん予防対策については、コロナ禍により、集団健診日程が限定されたことにより受診率が低くなってしまいましたが、今後は感染防止策を講じ、集団健診を例年どおりの日程で行い、受診機会の向上に努めます。

思春期保健事業は6校から申込がありましたが、コロナ禍により一部中止となり、3校で実施しました。

スポーツチャレンジ事業（おかあさんヨガ）はコロナ禍により事業中止を余儀なくされましたが、令和3年度は、講座内容の見直しや実施対象の拡大により、事業の充実を図ります。

【基本目標】 男女共同参画を推進するまちづくり

【基本施策】 男女共同参画の意識づくり

| | | | |
|---------------|--|-----------|--------------|
| No. | 1 | 基本施策 | 男女共同参画の意識づくり |
| 事業名 | 男女共同参画推進強調月間街頭啓発 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 男女共同参画社会の形成に関する理解を深めるため、男女共同参画推進強調月間である6月に、人が多く集まる場所で啓発グッズ等を配布し、周知を行う。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 男女共同参画推進強調月間である6月1日から30日にかけて、市役所やコミュニティセンター等36か所にてポスター掲示と啓発グッズの配布を行う。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 啓発グッズ等配布数 | |
| | (現状値) | 1,000 個 | |
| | (目標値) | 1,100 個 | |
| | (実績値) | 1,100 個 | |
| 達成度 | A | 100 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|----------|--------------|
| No. | 2 | 基本施策 | 男女共同参画の意識づくり |
| 事業名 | 男女共同参画センター運営協議会の開催 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 男女共同参画センターラポールの利用者や市民、有識者で構成される運営協議会を設置し、男女共同参画センターを中心とした男女共同参画の啓発、推進に取り組む。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 令和2年8月及び令和3年2月に運営協議会（書面審議）を開催し、男女共同参画センターの有効活用について、意見交換を徴した。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 運営協議会開催数 | |
| | (現状値) | 2 回 | |
| | (目標値) | 2 回 | |
| | (実績値) | 2 回 | |
| 達成度 | A | 100 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|--------|--------------|
| No. | 3 | 基本施策 | 男女共同参画の意識づくり |
| 事業名 | 市職員に対する研修の実施 | | |
| 担当課 | 総務課 | | |
| 事業内容 | 男女共同参画に関する知識等の研修会を実施し、市職員に対する意識改革を図る。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 10月に人権同和研修の一環として、男女共同参画に対する研修として2日（4回）開催し、計139人の職員の参加があった。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 研修受講率 | |
| | （現状値） | 93.0 % | |
| | （目標値） | 98.0 % | |
| | （実績値） | 97.2 % | |
| 達成度 | A | 99 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|---------|--------------|
| No. | 4 | 基本施策 | 男女共同参画の意識づくり |
| 事業名 | 若年者向け啓発冊子配布事業 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課・学校教育課 | | |
| 事業内容 | 男女共同参画社会の推進に向け、ジェンダーの視点を踏まえた若年者向けの啓発冊子を作成し、市内の小・中学校に配布する。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | ジェンダーの視点を踏まえた小・中学生用の啓発冊子を作成、市内の小・中学校全てに配布した。また、次年度配布用啓発冊子の全面改訂も行った。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 冊子配布数 | |
| | （現状値） | 3,270 冊 | |
| | （目標値） | 3,300 冊 | |
| | （実績値） | 3,157 冊 | |
| 達成度 | A | 96 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|--------|--------------|
| No. | 5 | 基本施策 | 男女共同参画の意識づくり |
| 事業名 | キャリア教育出前講座事業 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課・学校教育課 | | |
| 事業内容 | 市内の小・中学校等に出向き、ジェンダーの視点を踏まえた「働く」ことや「自分らしく」生きるために必要な考え方などについて、学ぶ講座を開催し、啓発を推進する。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 市内の小・中学校等に出向き、出前講座を5回開催し、子どもたちや教師に向けて啓発を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため限定した人数での開催となった。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 講座受講人数 | |
| | (現状値) | 1,433 | 人 |
| | (目標値) | 1,800 | 人 |
| | (実績値) | 604 | 人 |
| 達成度 | D | 34 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|------------|--------------|
| No. | 6 | 基本施策 | 男女共同参画の意識づくり |
| 事業名 | 男女共同参画社会基本計画啓発推進事業 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 講座や講演会においてリーフレットを配布し、糸島市男女共同参画社会基本計画に掲げる基本施策について、より多くの市民に向けた啓発を推進する。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 男女共同参画に関する基本的な知識について啓発するリーフレットを講座の参加者等に配布し、啓発を実施した。今後、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としてオンラインでの啓発の検討が必要である。 | | |
| 活動指標 | 指標 | リーフレット配布冊数 | |
| | (現状値) | 400 | 冊 |
| | (目標値) | 500 | 冊 |
| | (実績値) | 500 | 冊 |
| 達成度 | A | 100 | % |
| 今後の取組予定 | 内容を（一部）見直して、取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|--------------|--------------|
| No. | 7 | 基本施策 | 男女共同参画の意識づくり |
| 事業名 | 託児の実施 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 人権・男女共同参画推進課や男女共同参画推進団体が開催する講座等において、託児を実施することで、子育て中の女性の参画を推進する。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 講座や会議等の際、子育て中の女性が参画しやすいよう、合計16回の託児を実施した。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 託児預かり人数（延べ数） | |
| | （現状値） | 84 | 人 |
| | （目標値） | 110 | 人 |
| | （実績値） | 49 | 人 |
| 達成度 | D | 45 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

【基本目標】 男女共同参画を推進するまちづくり

【基本施策】 あらゆる分野への女性の参画促進

| | | | |
|---------------|--|-------------------------------|-----------------|
| No. | 8 | 基本施策 | あらゆる分野への女性の参画促進 |
| 事業名 | 女性職員の登用率向上（主幹以上） | | |
| 担当課 | 総務課 | | |
| 事業内容 | 職員調書を尊重した適材適所の人事配置に努める。育児・介護のための両立支援ガイドを活用し、積極的な推進に努める。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 係長級以上に占める女性割合は目標値を達成しており、管理職の女性割合についても17.7%となり、徐々に増加している。今後も引き続き女性職員の登用率の向上に努める。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 係長級以上の職に占める女性の割合 (消防職員を除く) | |
| | (現状値) | 22.4 | % |
| | (目標値) | 23.0 | % |
| | (実績値) | 24.2 | % |
| 達成度 | A | 105 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|---------------------|-----------------|
| No. | 9 | 基本施策 | あらゆる分野への女性の参画促進 |
| 事業名 | 男女共同参画人材育成事業 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 男女共同参画推進のため、県が実施する「地域のリーダーを目指す女性応援研修」や他自治体が開催する講座等への参加費用を補助し、人材育成に取り組む。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどの研修会が中止または、オンライン研修へ移行となり、参加費用の補助の対象者はいなかったが、ラポールにてファシリテーター養成講座を開催し人材育成に取り組んだ。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 研修参加者の女性人材バンクへの登録者数 | |
| | (現状値) | 1 | 人 |
| | (目標値) | 3 | 人 |
| | (実績値) | 0 | 人 |
| 達成度 | D | 0 | % |
| 今後の取組予定 | 内容を（一部）見直して、取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|---------|-----------------|
| No. | 10 | 基本施策 | あらゆる分野への女性の参画促進 |
| 事業名 | 家族経営協定の締結促進 | | |
| 担当課 | 農業振興課 | | |
| 事業内容 | 家族経営協定の締結を促進することで、女性の農業分野における役割を適正に評価するとともに、女性の経済的地位の向上と就業（農）条件や就業（農）環境の整備を図り、女性の農業経営への参画を促進する。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 規模拡大や経営の多角化等で農業女性や後継者が経営に参画する農家が増えている。今後も農業女性の会などへの情報提供等により、家族経営を行う経営体の協定締結を推進していく。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 家族経営協定数 | |
| | (現状値) | 82 件 | |
| | (目標値) | 84 件 | |
| | (実績値) | 84 件 | |
| 達成度 | A | 100 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|-----------------------------------|-----------------|
| No. | 11 | 基本施策 | あらゆる分野への女性の参画促進 |
| 事業名 | 審議会等における男女共同参画の推進 | | |
| 担当課 | 地域振興課・人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 市政への市民参加を推進するため、審議会等へ市民の積極的登用を図ることとし、審議会等における男性委員及び女性委員の構成が、それぞれ30%以上となるよう努める。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 各審議会等の所管課が「糸島市審議会等の委員の市民参加の推進に関する規程」に基づき委員を選任することとなっているが、事前協議がなされないまま、男性委員及び女性委員の構成割合が30%未満となった課もあることから、事前協議の徹底等により目標達成に努めたい。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 男性委員及び女性委員の構成割合が30%以上となっている審議会の割合 | |
| | (現状値) | 63 % | |
| | (目標値) | 75 % | |
| | (実績値) | 66 % | |
| 達成度 | B | 88 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|---------|-----------------|
| No. | 12 | 基本施策 | あらゆる分野への女性の参画促進 |
| 事業名 | 自治会の男女共同参画促進事業 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 校区・行政区自治会役員の女性登用を支援するため、研修会等を校区単位で開催する。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 新型コロナウイルス感染症の影響で、自治会での活動が最小限となり、事業を実施できなかった。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 校区会議の開催 | |
| | (現状値) | 4 校区 | |
| | (目標値) | 5 校区 | |
| | (実績値) | 0 校区 | |
| 達成度 | D | 0 % | |
| 今後の取組予定 | 内容を（一部）見直して、取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|---------|-----------------|
| No. | 13 | 基本施策 | あらゆる分野への女性の参画促進 |
| 事業名 | 校区避難所運営訓練事業 | | |
| 担当課 | 危機管理課 | | |
| 事業内容 | 大規模災害を想定し、校区住民が主体となって避難所運営訓練を実施する。 訓練にあたっては、事前の研修会を行い、避難所運営のノウハウを習得する。その中で、女性の視点を取入れた運営を学ぶ。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 新型コロナウイルス感染症の影響で、避難所運営訓練が中止となり、事業を実施できなかった。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 参加者数 | |
| | (現状値) | 2,248 人 | |
| | (目標値) | 3,048 人 | |
| | (実績値) | 0 人 | |
| 達成度 | D | 0 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|-------|-----------------|
| No. | 14 | 基本施策 | あらゆる分野への女性の参画促進 |
| 事業名 | 推進団体支援事業 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 市の男女共同参画を推進し、男女共同参画センターを有効に活用するため、市内団体のうち、男女共同参画推進に尽力する団体に対し、啓発活動や施設利用、広報活動における支援を行う。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 市内女性団体のうち3団体が支援事業（糸島市男女共同参画社会基本計画に沿った講座等）を実施した。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 支援事業数 | |
| | （現状値） | 2 本 | |
| | （目標値） | 4 本 | |
| | （実績値） | 3 本 | |
| 達成度 | B | 75 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

【基本目標】男女共同参画を推進するまちづくり

【基本施策】ワーク・ライフ・バランスの推進

| | | | |
|---------------|--|------------|-----------------|
| No. | 15 | 基本施策 | ワーク・ライフ・バランスの推進 |
| 事業名 | 新規起業者応援事業 | | |
| 担当課 | 商工観光課 | | |
| 事業内容 | 市内で新規に起業する人を応援するため、店舗などの改修費用や利子補給をはじめ、創業塾の開催や開業手続きのサポートなどを行う。 年度ごとに創業者数が変動し、かつ、コロナ禍で創業者数が減少する可能性があるため、昨年度目標値のままとする。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 商工会にワンストップ窓口を設置し、起業に向けた学習会の開催や起業資金の支援など、幅広いサポートを実施している。令和2年度はコロナ禍により新規起業者数が伸びなかった。今後も起業者のニーズに合わせた支援を図っていく。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 新規起業者数（女性） | |
| | （現状値） | 15 | 人 |
| | （目標値） | 12 | 人 |
| | （実績値） | 11 | 人 |
| 達成度 | A | 92 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|--------------|-----------------|
| No. | 16 | 基本施策 | ワーク・ライフ・バランスの推進 |
| 事業名 | イクボスマニュアルの活用 | | |
| 担当課 | 総務課 | | |
| 事業内容 | 部下が育児と仕事を両立できるように配慮し、育休取得や短時間勤務などを行っても業務を滞りなく進めるための環境整備に向け、管理職研修でイクボスマニュアルの活用について周知することにより、ワーク・ライフ・バランスを推進することを目指す。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 令和2年3月に作成し、ファイルキャビネットにも掲載し、いつでも閲覧できるようにしている。しかしながら、管理職研修などでの活用には至らなかったため、今後周知方法等を工夫し、職員のワークライフバランスの推進を行う必要がある。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 管理職研修での周知の実施 | |
| | （現状値） | 未実施 | |
| | （目標値） | 実施 | |
| | （実績値） | 未実施 | |
| 達成度 | D | 0 | % |
| 今後の取組予定 | 内容を（一部）見直して、取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|--------|-----------------|
| No. | 17 | 基本施策 | ワーク・ライフ・バランスの推進 |
| 事業名 | 女性の再就職支援事業 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 商工観光課主催の「いとしま就職面談会」等と連携した就職支援講座や、様々な技能を活かした就業継続・支援に向けた講座を開催する。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、他機関との連携が難しかったが、福岡県の就職支援セミナーやプチ起業講座をラポールを会場とし開催した。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 講座受講者数 | |
| | (現状値) | 68 | 人 |
| | (目標値) | 70 | 人 |
| | (実績値) | 58 | 人 |
| 達成度 | B | 83 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

【基本目標】 男女共同参画を推進するまちづくり

【基本施策】 子育て及び介護支援の充実

| | | | |
|---------------|---|-------|--------------|
| No. | 18 | 基本施策 | 子育て及び介護支援の充実 |
| 事業名 | 病児・病後児保育事業 | | |
| 担当課 | 子ども課 | | |
| 事業内容 | 病児・病後児保育事業を実施し、子育て環境の向上と保護者の就労支援を図る。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用を控える保護者が多く、令和2年度の実績値が低いものとなっている。今後も感染症の状況に左右される可能性が高い。感染症対策等、安心して利用できる環境の整備が必要となる。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 利用者数 | |
| | (現状値) | 1,002 | 人 |
| | (目標値) | 1,188 | 人 |
| | (実績値) | 363 | 人 |
| 達成度 | D | 31 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|------|--------------|
| No. | 19 | 基本施策 | 子育て及び介護支援の充実 |
| 事業名 | 子育て短期支援事業 | | |
| 担当課 | 子ども課 | | |
| 事業内容 | 保護者の疾病その他の理由により家庭において児童を養護することが一時的に困難となった場合等に契約施設において一定期間の保護及び養育を行う。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 令和2年度は該当者なし。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 利用者数 | |
| | (現状値) | 0 | 人 |
| | (目標値) | 15 | 人 |
| | (実績値) | 0 | 人 |
| 達成度 | D | 0 | % |
| 今後の取組予定 | 内容を（一部）見直して、取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|----------|--------------|
| No. | 20 | 基本施策 | 子育て及び介護支援の充実 |
| 事業名 | 民間保育所施設整備事業 | | |
| 担当課 | 子ども課 | | |
| 事業内容 | 民間保育所の老朽化した施設の建替えを実施し、保育環境の整備と待機児童の解消を図る。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 令和2年度については、市内保育所1園の改築により、定員数の増加を図っている。また、市内4施設が認定こども園に移行したことにより、利用定員が増加している。令和3年度についても市内保育所1園の増築を行い、さらなる定員増を図る。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 保育所入所定員数 | |
| | (現状値) | 2,681 | 人 |
| | (目標値) | 2,691 | 人 |
| | (実績値) | 2,778 | 人 |
| 達成度 | A | 103 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|--------------|--------------|
| No. | 21 | 基本施策 | 子育て及び介護支援の充実 |
| 事業名 | ファミリー・サポート・センター事業 | | |
| 担当課 | 子ども課 | | |
| 事業内容 | 子育てを援助してほしい人（おねがい会員）と子育てを援助したい人（サポート会員）が会員登録をし、相互援助活動を行う。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、大規模な会員登録会を行うことはできなかったが、個別の会員登録対応により、登録者数は増えた。 今後もおねがい会員の利用促進とサポート会員の拡充に向けた取り組みを行う。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 利用者数（会員登録者数） | |
| | (現状値) | 291 | 人 |
| | (目標値) | 300 | 人 |
| | (実績値) | 360 | 人 |
| 達成度 | AA | 120 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|--------|--------------|
| No. | 22 | 基本施策 | 子育て及び介護支援の充実 |
| 事業名 | ママ・パパ教室 | | |
| 担当課 | 健康づくり課・子ども課 | | |
| 事業内容 | 妊婦とその家族を対象に、生まれてすぐからの子育てについて必要な知識等を学ぶ勉強会を実施。今年度は昨年度の実績から定員数を増加。また、今年度から子育て世代包括支援センターいとハピ開設に伴い、主管課は健康づくり課に移行したが、事業は子ども課と共同開催。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、当初予定していた定員数からは制限して実施。教室で対応できなかった対象者に対しては、個別での対応も行った。今後も感染症予防を図りながら妊婦とその家族に対する出産準備のための取り組みを行う。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 教室参加者数 | |
| | (現状値) | 80 人 | |
| | (目標値) | 100 人 | |
| | (実績値) | 98 人 | |
| 達成度 | A | 98 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|--------|--------------|
| No. | 23 | 基本施策 | 子育て及び介護支援の充実 |
| 事業名 | 介護人材確保事業 | | |
| 担当課 | 介護・高齢者支援課 | | |
| 事業内容 | 在宅でも介護ができるという意識づけを行うため、家庭介護者向け研修会を実施する。研修会の開催数が減少するため目標値を再設定。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 在宅でも介護できるという意識づけを行うため、介護に対する知識や技術の講義・実技指導を行った。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で、2会場で少人数での実施予定であるが、以降は、各地区3会場で、参加人数を増やしての実施を推進する。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 研修受講者数 | |
| | (現状値) | 33 人 | |
| | (目標値) | 30 人 | |
| | (実績値) | 29 人 | |
| 達成度 | A | 97 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|-------------|--------------|
| No. | 24 | 基本施策 | 子育て及び介護支援の充実 |
| 事業名 | 介護予防・日常生活支援総合事業 | | |
| 担当課 | 介護・高齢者支援課 | | |
| 事業内容 | 全国一律の予防給付を市が取り組む地域支援事業に移行し、既存のサービスに加え、多様なサービスを開始する。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 住民主体による通いの場の立ち上げに向け、各地域で課題共有や協議を重ね、実施する行政区の拡充を図ることができた。今後も更に介護予防、自立支援の促進を図っていく必要がある。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 多様なサービスの種類数 | |
| | (現状値) | 6 種類 | |
| | (目標値) | 6 種類 | |
| | (実績値) | 6 種類 | |
| 達成度 | A | 100 % | |
| 今後の取組予定 | 内容を（一部）見直して、取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|------------|--------------|
| No. | 25 | 基本施策 | 子育て及び介護支援の充実 |
| 事業名 | 認知症施策推進事業 | | |
| 担当課 | 介護・高齢者支援課 | | |
| 事業内容 | 各地域に認知症地域支援推進員を配置し、地域の実情に応じた各事業を実施することで、介護者等の負担を軽減する。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 認知症地域支援推進員や地域包括支援センターが中心となって認知症カフェの利用を促進し、介護者等の負担軽減を進めている。令和2年度は新たな認知症カフェの設置に向け、開設予定の団体と協議し、必要な助言を行った。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 認知症カフェ設置件数 | |
| | (現状値) | 7 件 | |
| | (目標値) | 10 件 | |
| | (実績値) | 7 件 | |
| 達成度 | B | 70 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

【基本目標】 人権を尊重し、安全・安心に暮らせるまちづくり

【基本施策】 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援

| | | | |
|---------------|---|-----------|----------------------|
| No. | 26 | 基本施策 | 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援 |
| 事業名 | DV防止街頭啓発 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | DV防止に関する理解を深めるため、「女性に対する暴力をなくす運動」を内閣府が主唱する11月に啓発グッズ等を配布し、周知を行う。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 「女性に対する暴力をなくす運動」週間に合わせ、市役所やコミュニティセンター等36か所にてポスター掲示と啓発グッズの配布を実施した。さらに、JR駅構内等にて「いとゴンパネル」を設置し啓発を行った。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 啓発グッズ等配布数 | |
| | (現状値) | 1,200 個 | |
| | (目標値) | 1,200 個 | |
| | (実績値) | 1,200 個 | |
| 達成度 | A | 100 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|----------------|----------------------|
| No. | 27 | 基本施策 | 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援 |
| 事業名 | 啓発講座や出前講座の実施 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | DVに対する正しい理解の普及啓発を推進するため、若年世代を含む市民に対し、啓発講座や出前講座を実施し、暴力の未然防止や早期発見につなげる。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 市内の中学校や高校などに出向き、生徒を対象として出前講座を年間4回開催し、延べ572人の参加者に対し啓発を行った。また、コロナ禍に対応するため、DVについての動画配信も行った。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 啓発講座や出前講座の実施回数 | |
| | (現状値) | 8 回 | |
| | (目標値) | 10 回 | |
| | (実績値) | 6 回 | |
| 達成度 | C | 60 % | |
| 今後の取組予定 | 内容を（一部）見直して、取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|-----------|----------------------|
| No. | 28 | 基本施策 | 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援 |
| 事業名 | DV女性相談窓口の設置 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 夫やパートナーからのDVに対し、女性が安心して相談できるよう、専門知識を備えた相談員を配置した相談窓口を設置するとともに、相談窓口の周知を図る。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 市広報等により、相談窓口を周知するとともに、庁内関係各課及び県の機関とも連携を図り、相談体制を更に充実させた。 | | |
| 活動指標 | 指標 | DV・女性相談件数 | |
| | (現状値) | 499 | 件 |
| | (目標値) | 622 | 件 |
| | (実績値) | 355 | 件 |
| 達成度 | C | 57 | % |
| 今後の取組予定 | 内容を（一部）見直して、取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|------------|----------------------|
| No. | 29 | 基本施策 | 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援 |
| 事業名 | DV相談カードの配布・設置 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 市内の公共施設や、病院、学校などの女性用トイレにDV相談カードを設置し、相談窓口の周知を図る。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | より多くの方にPRできるように、カラーで印刷したDVカードを医師会と連携し、市内の病院及び公的施設に設置した。今後は、コロナウイルス感染症の拡大を受け、外出の機会が減っていることから、新たな周知策を検討する。 | | |
| 活動指標 | 指標 | カード配布（補充）数 | |
| | (現状値) | 4,740 | 枚 |
| | (目標値) | 4,800 | 枚 |
| | (実績値) | 5,735 | 枚 |
| 達成度 | AA | 119 | % |
| 今後の取組予定 | 一度、事業を終了する | | |

| | | | |
|---------------|---|----------|----------------------|
| No. | 30 | 基本施策 | 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援 |
| 事業名 | 関係課との連携相談対応 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | DV被害者の状況や、一人ひとりの状態に応じた支援を行うため、庁内関係各課と連携し、情報共有や相談体制の構築を図る。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 普段から情報共有を図ることを意識し、相談者一人ひとりの状態に応じた細やかな支援体制の構築に努めている。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 連携相談対応件数 | |
| | (現状値) | 661 | 件 |
| | (目標値) | 700 | 件 |
| | (実績値) | 352 | 件 |
| 達成度 | C | 50 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|-------|----------------------|
| No. | 31 | 基本施策 | 配偶者等からの暴力の未然防止と被害者支援 |
| 事業名 | 福岡県との連携会議 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 福岡県をはじめ、警察などの関係機関との会議を設け、情報共有やケース対応についての確認を行い、組織を超えた連携体制を構築することで、相談体制の充実を図る。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 福岡県や糸島警察署などの関係機関と、日頃から情報共有に努め、連携体制を構築している。令和2年度は県外からの避難者の対応について連携会議を行った。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 会議開催数 | |
| | (現状値) | 1 | 回 |
| | (目標値) | 1 | 回 |
| | (実績値) | 1 | 回 |
| 達成度 | A | 100 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

【基本目標】 人権を尊重し、安全・安心に暮らせるまちづくり

【基本施策】 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実

| | | | |
|---------------|--|----------|--------------------|
| No. | 32 | 基本施策 | 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実 |
| 事業名 | 生活困窮者自立支援事業 | | |
| 担当課 | 福祉支援課 | | |
| 事業内容 | 令和元年度から実施している家計改善支援事業の相談日数を増やし、相談者が利用しやすい環境を作っていく。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 任意事業のうち、就労準備支援事業は平成29年度から、家計改善支援事業は令和元年度から実施。家計改善支援事業は令和3年度から相談日数を週1日から週3日に増やした。今後、未着手の任意事業開始に向けて取り組む。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 任意事業の実施数 | |
| | (現状値) | 2 事業 | |
| | (目標値) | 2 事業 | |
| | (実績値) | 2 事業 | |
| 達成度 | A | 100 % | |
| 今後の取組予定 | 内容を（一部）見直して、取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|-------------------|--------------------|
| No. | 33 | 基本施策 | 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実 |
| 事業名 | ハラスメント相談員及び相談窓口の設置 | | |
| 担当課 | 総務課 | | |
| 事業内容 | ハラスメントに関する知識のある職員から相談員を選任し、安心して相談できる相談窓口を設置し、職場環境の整備に取り組む。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | ハラスメントに関する知識のある職員から相談員を選任するとともに、新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、個別に資料を配付して説明を行った。今後も安心して相談できる相談窓口を設置し、職場環境の整備を推進する。 | | |
| 活動指標 | 指標 | ハラスメント相談員に対する研修実施 | |
| | (現状値) | 1 回 | |
| | (目標値) | 1 回 | |
| | (実績値) | 1 回 | |
| 達成度 | A | 100 % | |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|------|--------------------|
| No. | 34 | 基本施策 | 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実 |
| 事業名 | 女性の心理カウンセリング事業 | | |
| 担当課 | 人権・男女共同参画推進課 | | |
| 事業内容 | 女性が直面するさまざまな悩みを聞き、気持ちの整理を手伝い、解決のための一歩を踏み出す支援を行う。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 女性が抱える問題の根底にあるものに気づき、気持ちの整理を手伝い、解決のための一歩を踏み出す支援を行った。継続の利用者が多く、行政が行うカウンセリングの役割を果たしたことから事業終了とするが、動画配信等による新たな支援策を検討する。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 面接人数 | |
| | (現状値) | 67 | 人 |
| | (目標値) | 75 | 人 |
| | (実績値) | 52 | 人 |
| 達成度 | C | 69 | % |
| 今後の取組予定 | 一度、事業を終了する | | |

| | | | |
|---------------|---|------|--------------------|
| No. | 35 | 基本施策 | 誰もが安心して暮らせる支援施策の充実 |
| 事業名 | ひとり親家庭等修学支援事業 | | |
| 担当課 | 子ども課 | | |
| 事業内容 | ひとり親家庭の親及び子どもが、高卒認定試験合格のための講座を受講し、修了又は試験合格時に受講費用の一部を支給する。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 令和2年度の申請は0であったが、ひとり親家庭の支援の一環として継続して実施する。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 利用者数 | |
| | (現状値) | 0 | 人 |
| | (目標値) | 1 | 人 |
| | (実績値) | 0 | 人 |
| 達成度 | D | 0 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

【基本目標】 人権を尊重し、安全・安心に暮らせるまちづくり

【基本施策】 生涯を通じた健康の支援

| | | | |
|---------------|--|---------|-------------|
| No. | 36 | 基本施策 | 生涯を通じた健康の支援 |
| 事業名 | 栄養講座の開催 | | |
| 担当課 | 健康づくり課 | | |
| 事業内容 | 健康管理・保持増進のため、栄養士等による講話や、「栄養講座」を開催し、生活習慣病予防のための食習慣に関する正しい知識の啓発を行う。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 参加者は9人だったが、男女ともに参加があり、講話の他に調理実習や運動実技を行う等、充実した内容であった。周知方法等を工夫し、参加人数を増やすことが今後の課題である。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 講座参加者実数 | |
| | (現状値) | 30 | 人 |
| | (目標値) | 40 | 人 |
| | (実績値) | 9 | 人 |
| 達成度 | D | 23 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|--|--------------------------------|----------------|
| No. | 37 | 基本施策 | 生涯を通じた健康の支援 |
| 事業名 | 女性特有のがん予防対策 | | |
| 担当課 | 健康づくり課 | | |
| 事業内容 | 女性特有のがん予防対策として、子宮頸がん、乳がん検診の推進を図るために、女性に対する健診体制の拡充（レディースデイの設定や就学前健診との同時実施、個別検診の継続、JA女性部との同時実施）や未受診者への受診勧奨を行う。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 令和2年度は、受診率が低い状況であった。新型コロナウイルスの蔓延防止のため集団健診日程が限られたことが影響していると考えられる。今後は、感染予防対策を行い、集団健診を例年通りの日程として受診機会の向上に努めたい。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 受診率（地域保健報告値：対象者は糸島市国民健康保険被保険者） | |
| | (現状値) | 子宮頸がん 乳がん | 20.4 23.1 % |
| | (目標値) | 子宮頸がん 乳がん | 22.4 25.1 % |
| | (実績値) | 子宮頸がん 乳がん | 12.3 13.2 % |
| 達成度 | B | 87 | % |
| 今後の取組予定 | 今後も継続して取り組む | | |

| | | | |
|---------------|---|------|-------------|
| No. | 38 | 基本施策 | 生涯を通じた健康の支援 |
| 事業名 | 思春期保健事業 | | |
| 担当課 | 健康づくり課 | | |
| 事業内容 | 保健師や助産師を講師とした性教育を学ぶ思春期保健事業を中学校等で開催し、正しい知識について啓発を行う。 また、赤ちゃん登校日を実施し、親子との交流、赤ちゃんとの触れ合いを通じ、命の大切さを学習する。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 6校から申込があったが、緊急事態宣言等の影響で一部中止となり、3校に実施した（赤ちゃん登校日は中止し、性教育を学ぶ思春期保健事業のみ実施）。令和3年度は同課内の新型コロナワクチン予防接種事業に注力するため、本事業は中止となる。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 実施校 | |
| | (現状値) | 6 校 | |
| | (目標値) | 6 校 | |
| | (実績値) | 3 校 | |
| 達成度 | C | 50 % | |
| 今後の取組予定 | 一度、事業を終了する | | |

| | | | |
|---------------|--|-------|-------------|
| No. | 39 | 基本施策 | 生涯を通じた健康の支援 |
| 事業名 | スポーツチャレンジ事業（おかあさんヨガ） | | |
| 担当課 | 生涯学習課 | | |
| 事業内容 | ヨガの体験講座を実施し、育児中の母親等の体と心のリフレッシュを図り、スポーツを行うきっかけづくりを行う。 | | |
| 実施状況 今後の課題 | 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、事業を中止した。 令和3年度は、講座内容の見直しや実施対象の拡大により、事業の充実を図る。 | | |
| 活動指標 | 指標 | 参加人数 | |
| | (現状値) | 140 人 | |
| | (目標値) | 180 人 | |
| | (実績値) | 0 人 | |
| 達成度 | D | 0 % | |
| 今後の取組予定 | 内容を（一部）見直して、取り組む | | |